

# PCI 3DS オンサイト評価のご紹介

## 3DS (3D Secure) とは？

3DS は 3D Secure を略したものであり、クレジットカードによるオンラインの決済時に、**事前にカード会社に登録した本人のみが知っている情報（パスワード等）を入力する本人認証手法**です。これによりクレジットカード情報のみでの決済ができなくなり、不正取引のリスクを格段に下げることが可能となります。

強力な本人認証手段として、3D セキュアの注目度は年々高まっています。例えば**クレジット取引セキュリティ対策協議会が策定する「実行計画」及び「クレジットカード・セキュリティガイドライン」**には、カード取引の不正防止対策の一つとして 3D セキュアが盛り込まれています。また、VISA や MasterCard が中心となり、**世界的にもイシュア・サービスプロバイダに対する 3D セキュアの導入義務付けが進められています**。日本国内はまだ対応が追い付いていないというのが現状ですが、今後 3D セキュアへのニーズの高まりは加速していくことが予想されています。

## PCI 3DS の対象について

現在では、PCI 3DS への準拠は、**3D セキュアサービスを提供しているサービスプロバイダ**が対象となります。加盟店やその他のサービスプロバイダは、特にペイメントブランド等から要請されない限り PCI 3DS 準拠は現状では必須ではありませんが、準拠は可能です。

BBSec は国内でも数少ない PCI 3DS 認定評価機関として、**3DS QSA によるオンサイト評価**を実施致します。

## PCI 3DS 準拠のメリット

上述の通り、3D セキュア導入の流れはグローバルで加速しており、その影響は日本にも及んできています。

国際カードブランドを中心に、**不正なカード取引における債務責任をアクワイアラ（加盟店契約会社）に課すライアビリティシフト**の動きも押し進められており、自社のリスクを低減するためにも 3D セキュアの導入は当たり前のものとなっていくでしょう。

カード会社や決済代行業者が自社で 3D セキュアの仕組みを構築することは非常に難しく、必然的に PCI 3DS 認証を取得した 3D セキュアサービスプロバイダへのニーズが高まることが予想されます。

# PCI 3DS オンサイト評価のご紹介

## PCI 3DS オンサイト評価の概要

- 準拠基準  
Payment Card Industry 3DS Core Security Standard Ver1.0
- 評価対象  
3DS サービス
- 評価項目  
全 14 項目 (Part1 / 7 項目 + Part2 / 7 項目)  
※PCI DSS に準拠している場合、Part1 は免除される場合がある。
- 評価手法  
①インタビュー ②現地視察 ③システム・機器などの実機確認  
④文書・記録類の確認 ⑤準拠レポート作成  
※適宜サンプリングを実施する。
- 準拠認定証明  
準拠認定証明書の発行、準拠認定証明ロゴマークの使用許諾

■ まずは御相談ください。お問合せはこちら。



**03-6433-3116** (受付時間 平日9:30~17:00)  
mailto:Consulting-Sales@bbsec.co.jp



※本カタログは2020年9月現在のものです。これらは予告なしに変更する場合がございますので予めご了承ください。

※記載の会社名、商品およびサービスの名称は、当社ならびに各社の商標または登録商標です。



**株式会社ブロードバンドセキュリティ**



■ 本 社  
〒160-0023 東京都新宿区西新宿8-5-1 野村不動産西新宿共同ビル4F TEL: 03-5338-7425 FAX: 03-5338-7427  
URL : <https://www.bbsec.co.jp/>